

# 校内研修計画

甲州市立祝小学校

## 1 学校課題

本校は全学年単学級の小規模校である。児童は明るく素直で、いろいろなものごとにもまじめに取り組むことができる。読書や遊びを縦割りで行い異学年交流の場も多く設定されているため、家庭的な雰囲気が感じられる。

「自分の思いを自分の言葉で伝えることのできる児童の育成」を目指して言語活動の充実を図ってきたことにより、自分の考えをもち交流の場面では発表を楽しむことができる児童も増えてきている。また、算数科の授業改善を通し「自ら学ぶ児童の育成」を研究主題として取り組んだ昨年の研究では、高学年の児童の算数科への学習意識がマイナスからプラスへ10.9%改善するという成果を得ることもできた。

しかし、平成28年度に実施された各種調査の分析からは、平成27年度の結果と比較すると多くの改善がみられたものの、依然として算数科の学習理解について課題があることがわかった。評価の観点では「数学的な考え方」、領域では「図形」に課題がある。日々の実践からは、学習意欲や学習能力の個人差への対応が課題としてあげられている。これらの実態分析から、本校の喫緊の学校課題を「学力差のある学級集団において、どの子にも確かな理解・定着・参加が生まれる算数科の授業づくり」と捉えた。

## 2 研究主題

自ら学ぶ児童の育成—算数科の授業づくりを通して（3年次）—

～学びの成果を実感できる振り返り場面の工夫～

## 3 主題設定の理由

本校では、「心豊かでたくましく生きる子」を学校教育目標に掲げ、学校経営重点の一つとして児童の学習意欲を高め、「確かな学力」の育成を目指した授業づくりに取り組んでいる。「生きる力」の知的側面である「確かな学力」は、「基礎・基本を確実に身に付け、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力」と定義されている。今、求められる「確かな学力」を捉える上では、「何を教えるか」という知識の質や量の改善、「どのように学ぶか」という学びの質や深まりを重視することが必要であり、課題の発見と解決に向けて主体的・協同的に学ぶ学習や、そのための指導の方法等を充実させる必要性と学びの成果としての「どのような力が身に付いたのか」という視点が重要であることが指摘されている。これらの時代や社会の要請を踏まえ、本校の学校教育目標の具現化を目指していくために、研究主題を「自ら学ぶ児童の育成」と設定する。研究主題「自ら学ぶ児童の育成」を追究するにあたり、自ら学ぶ児童を「深い理解と自分の学習状況を自己診断する力が育まれた児童」と捉え、「交互に関わりながら、情報を知識や経験と結びつけたり学びを振り返り評価したりできる児童」を具体像として目指す。さらに、本校の喫緊の課題として捉えられる算数科の授業づくりにあたっては、2年間の研究成果である「授業の導入場面の工夫」「追求の場面における話し合いによる交流場面の工夫」を生かしながら、「学びの成果を実感できる振り返り場面の工夫」について重点化して取り組む。算数科の授業において、学びの成果を実感できる振り返りの場面の工夫をすることにより、児童が自信をもって学習に取り組めるようになると共に、自身の学習状況を自己診断する力を高めることができると考え、副主題「学びの成果を実感できる振り返り場面の工夫」を設定した。

## 4 研究の内容と方法

- (1) 授業研究（研究授業、一人一実践授業、確かな学力育成プロジェクトへの取組）
- (2) テーマに関わる理論研究
- (3) 学習アンケートの実施と集計・分析
- (4) 「Q-U」の実施と分析・活用の充実

## 校内研修計画

研究主任 堀井ますみ

研究テーマ		教科・領域	担当者	学年	授業の時期		T C 要請
自ら学ぶ児童の育成―算数科の授業づくりを通して(3年次)― 学びの成果を実感できる振り返り場面の工夫	今年度の研究の方向性について		研究主任		4	5	
	今年度の研究の概要について	算数	研究主任			1 2	
	算数学習アンケートについて 算数科の授業づくりについて学習会	算数	研究主任			1 9	
	算数学習アンケート集計作業	算数	研究主任	全学年		2 6	
	平成29年度「NRT」検査結果分析 「確かな学力」育成プロジェクトに関する取組について	算数 集団づくり	研究主任	全学年	5	1 7	
	K13 法学習会の環流報告 ブロック別研究会(一人一実践授業の計画)	集団づくり 算数	研究主任 ブロック長	全学年		2 5	
	第1回Q-Uの分析・分析結果の共有化	集団づくり	学級担任	全学年	6	7	
	研究副主題に関わる学習会	算数	研究主任			2 1	
	「学級づくり・集団づくり」にかかわる学習会	集団づくり	プロジェクト			2 3	
	一人一実践授業の共有化	算数	授業者			2 8	
	「授業づくり・授業改善」に関わる学習会		プロジェクト		7	5	
	教育課程説明会の還流報告 「特別の教科道徳」の実施に向けて学習会	各教科 道徳	各教科主任 道徳主任		8	1 6	
	ブロック別学習会(授業案検討等)	算数	ブロック長		9	6	
	全国学力学習状況調査結果分析と課題解決 に向けた取組について	算数	研究主任	6年	10	4	
	研究授業指導案検討①(全体会)	算数	授業者	2年		1 1	
	「授業づくり・授業改善」に関わる学習会		プロジェクト			1 8	
	研究授業指導案検討②(全体会)	算数	授業者	2年		2 5	
	第2回Q-Uの分析・分析結果の共有化	集団づくり	研究主任	全学年	11	8	
	研究授業	算数	ブロック長	2年		1 5	○
確かな学力育成プロジェクト教育講演会		プロジェクト		12	1		
一人一実践授業の共有化	算数	授業者			6		
研究の成果と課題アンケートについて ブロック研究のまとめ	算数	研究主任 ブロック長			1 3		
「学級づくり・集団づくり」にかかわる学習会		プロジェクト			2 4		
研究のまとめ 研究紀要作成について	算数	研究主任		1	3 1		
研究紀要の作成	算数	研究主任		2	2 1		
研究紀要製本	算数	研究主任			2 8		